

東京都の救急医療の課題と取組み

－ 周産期救急を例に －

東京都副知事
猪瀬直樹

妊婦搬送事案の発生

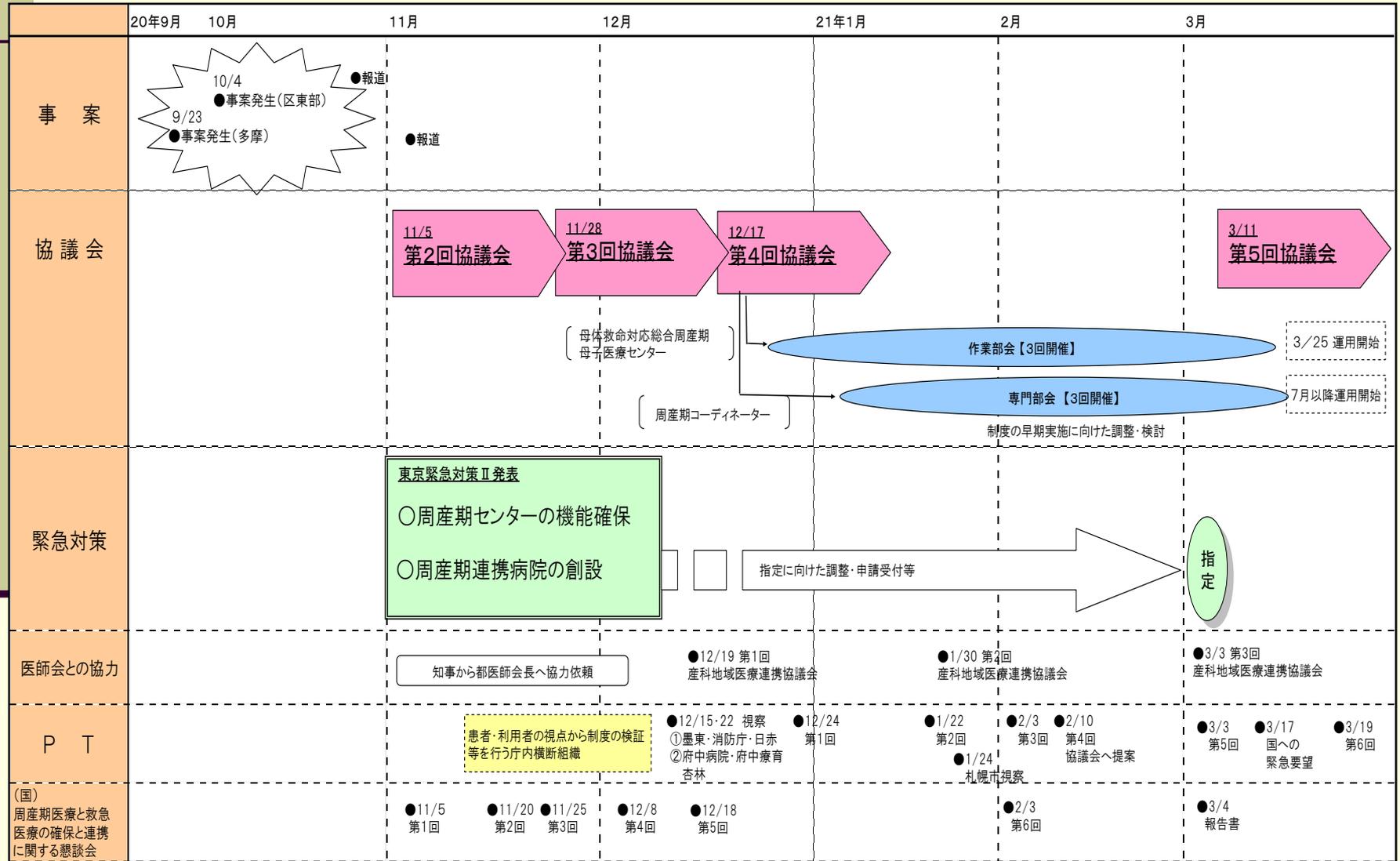
■ 20年10月

都内で、激しい頭痛を訴えた妊婦の搬送先がなかなか決まらず、最終的に都立墨東病院に搬送されたが、脳出血で死亡

■ 20年11月

20年9月に脳出血の妊婦の搬送先がなかなか決まらない事例があったことが判明

妊婦搬送事案を受けた対応の経緯



東京都周産期医療協議会による検討

専門家によって構成する「東京都周産期医療協議会」による検討

- **母体救命対応総合周産期母子医療センターの設置**

(平成21年3月25日から運用開始)

緊急に母体救命処置が必要な妊産褥婦を必ず受け入れる総合周産期母子医療センターを3施設指定

- **周産期コーディネーターの配置**

(平成21年7月以降運用開始)

都全域で母体・新生児の搬送先の調整を行うコーディネーターを配置し、迅速な搬送先選定と周産期センターの負担軽減を図る。

東京都周産期医療体制整備PTの設置

■ 目的

都民・利用者の視点から、周産期医療システムや制度の検証を行い、周産期医療体制の強化を図る

■ メンバー

座長：猪瀬副知事

庁内横断的な組織により構成（知事本局、福祉保健局、病院経営本部、東京消防庁）

東京都周産期医療体制整備PTの取組

- **第1回視察** (平成20年12月15日)
 - ・都内総合周産期センター(都立墨東病院、日赤医療センター)
 - ・東京消防庁指令室
- **第2回視察** (平成20年12月22日)
 - ・重症心身障害児(者)施設(府中療育センター)
 - ・都立府中病院
 - ・杏林大学医学部付属病院
- **第3回視察** (平成21年 1月24日)
 - ・札幌市全域を対象とした搬送コーディネーター制度(札幌市)
 - ・札幌市立病院、札幌市消防局ワークステーション
- **PTによる提案**
 - ・これまでに6回のブレインストーミングを開催し、制度の検証やNICU収支モデル試算などを行ったうえで、2度にわたる提案を行う



第1回視察(東京消防庁指令室)



第2回視察(都立府中病院)

東京都周産期医療体制整備PTの取組

■ 第1次提案

(平成21年2月10日)

・東京都周産期医療協議会に対する提案

【提案事項】

(1) 診療可否情報の簡素化

搬送コーディネーターの搬送調整の際には「周産期医療情報システム」によらず、産科・NICUの受入可否状況を電話で把握し、それに基づいて行うべき

(2) 患者情報連絡票の簡素化

患者情報が正確に伝わるよう連絡票を活用し、緊急時には必要最低限の情報伝達とするべき

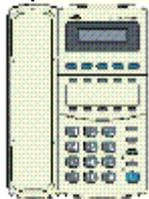


東京都周産期医療協議会岡井会長へ
提案書を手交

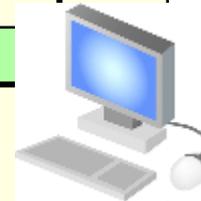
札幌市 救急患者受入情報オペレーター(コーディネーター)制度の概要



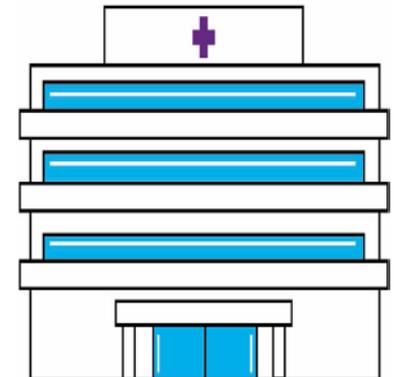
◆救急患者受入情報オペレーター事業



2・3次病院	NICU	産科
A病院	○	○
B病院	×	○
C病院	×	○
D院	△	○
E病院	×	○
F病院	○	—



2・3次病院



■ NICU・産科病床の空床状況確認

- 第一優先病院・第二優先病院の決定と連絡
- 未受診受入れ病院、拠点・当番病院の連絡

東京都の現状 (東京都周産期医療情報システム)

東京都福祉保健局

診療能力情報更新

LogIn ID : ailum

計画停止(システムメンテ):
毎月第2水曜 11:00-14:00

最新情報

情報変更

連絡先一覧

印刷

終了

No.	医療機関名称	産科					新生児						最新更新時刻		
		産科 空床	ハイ リスク 患者	産科 手術	品胎 患者	お知らせ	NICU 重症	人工 呼吸 中症	医師 添乗	外科 手術	心臓 手術	お知らせ			
1	愛育病院	X	X	X	有	有	12/12 19:43	X	X	X	X	X	X	無	03/21 18:35
2	聖路加病院	X	X	X	無	無	12/12 10:08	X	X	X	X	O	X	無	12/10 09:31
3	慈恵医大病院	O	O	O	無	無	12/12 10:14	X	X	X	X	O	O	無	12/11 14:05
4	順天堂医院	X	X	X	-	無	03/22 01:53	X	X	X	X	O	O	無	03/21 18:14
5	東京大学病院	X	X	X	-	無	03/21 20:19	O	O	O	X	O	O	無	03/21 10:32
6	女子医大病院	O	O	O	有	無	12/10 18:36	X	O	X	X	X	X	無	03/22 01:00
7	東京医大病院	O	O	O	-	無	03/21 18:20	X	O	O	X	O	X	無	03/21 18:49
8	慶應大学病院	O	O	O	-	無	03/22 07:49	X	X	X	X	X	X	無	11/11 18:59
9	墨東病院	O	O	O	有	無	12/12 09:36	X	O	O	X	X	X	無	12/12 09:35
10	賛育会病院	X	X	X	-	無	03/21 16:46	O	O	O	X	X	X	無	03/21 17:21
11	東邦大学大森病院	O	O	O	-	無	03/21 16:52	O	O	O	X	X	X	無	03/22 07:13
12	昭和大学病院	X	X	X	-	無	03/21 09:37	X	X	X	X	O	X	無	03/21 17:45
13	日赤医療センター	X	X	X	-	無	03/22 03:40	O	O	O	O	O	O	無	03/21 13:08
14	国立成育医療	X	X	X	-	無	03/22 01:50	X	O	O	O	O	O	無	03/20 17:58
15	日大板橋病院	O	X	X	-	無	03/21 16:50	X	X	X	X	O	X	無	03/21 16:44
16	大塚病院	O	X	X	-	無	03/21 23:33	O	O	O	O	O	X	無	03/21 16:16
17	豊島病院	X	X	X	-	無	03/21 17:04	O	O	O	X	X	X	無	03/20 08:39
18	帝京大学病院	O	X	O	-	無	03/21 20:23	X	X	X	X	X	X	無	03/21 17:47
19	葛飾赤十字	X	X	X	-	無	03/21 17:44	X	X	X	X	X	X	無	03/21 16:44

ページが表示されました

イントラネット

■ 周産期センターでは、東京都周産期医療情報システムを活用し、搬送調整を実施

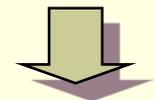
⇒ 原則、リアルタイム更新がルールだが、現状では、多忙な勤務環境の中、一日2回の情報更新が一般的

■ 緊急な場合は、シンプルな診療可否情報がリアルタイムに把握されていることが極めて重要！！

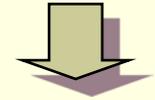
患者情報連絡票の簡素化

_____年 _____月 _____日 母体紹介・搬送依頼書（診療情報提供書）	
紹介先医療機関名等	_____
担当医	_____科 _____殿
依頼元施設名	_____
依頼者医師名	_____ 印
所在地	_____
電話番号	_____ 内線 _____
患者氏名	_____
患者住所	_____
電話番号	_____
生年月日	S・H _____年 _____月 _____日生 _____歳
妊娠週数・産褥日数	妊娠 _____週 _____日 産褥 _____日
妊娠歴	経妊 _____回 経産 _____回 前回帝王切開 (あり・なし)
搬送理由・傷病名	<input type="checkbox"/> 切迫早産 <input type="checkbox"/> 前期破水 <input type="checkbox"/> 前置胎盤 <input type="checkbox"/> 胎児機能不全 <input type="checkbox"/> 多胎 (_____胎・MD・DD) <input type="checkbox"/> IUGR <input type="checkbox"/> PIH <input type="checkbox"/> その他 (_____)
(症状経過及び検査結果)	
母体情報	出血 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (_____ ml) 子宮収縮 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (_____ 分毎) 破水 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (時刻: _____月 _____日 _____時) 子宮口 _____cm 展退 _____%
※	血液型 _____型 Rh (+・-) ・ 不規則抗体 (+・-) 感染症陽性 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> HBV <input type="checkbox"/> HCV <input type="checkbox"/> Wa氏 <input type="checkbox"/> HIV <input type="checkbox"/> HTLV-1 血圧 _____ / _____ mmHg
胎児情報	胎位 <input type="checkbox"/> 頭位 <input type="checkbox"/> 骨盤位 <input type="checkbox"/> その他 (_____) 推定体重 _____g
※ 搬送時に、検査伝票の写しを持参させて下さい。 (治療経過・現在の処方)	
現在の治療	<input type="checkbox"/> ウテメリン _____ $\mu\text{g}/\text{min}$ <input type="checkbox"/> MgSO4 _____ mg/day <input type="checkbox"/> 抗生物質 (_____) <input type="checkbox"/> その他 (_____)
保険証	社保・国保・無・不明・その他 (_____)
既往歴・家族歴	_____
備考	_____

周産期センター等への搬送要請



的確な患者情報伝達が不可欠!!



連絡票を活用すべき



あわせて・・・

緊急性が高い場合には
時間や手間がかからぬよう

必要最低限の情報伝達と
すべき

東京都周産期医療体制整備PTの取組

■ 第2次提案

(平成21年3月17日)

NICUの整備促進を図るため、国への
緊急要望を実施

【要望事項】

(1) NICUの診療報酬の大幅な引き上げ

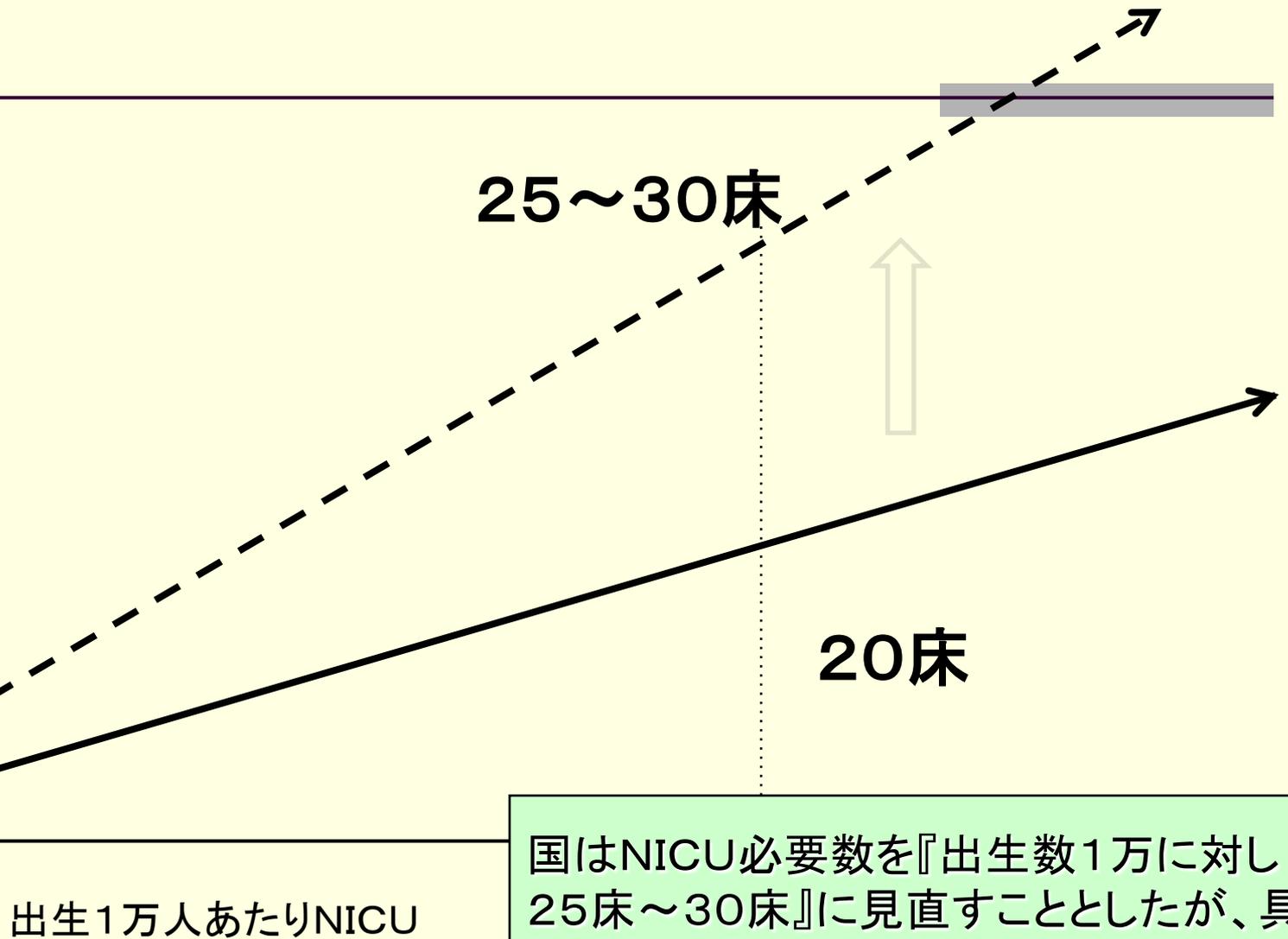
(2) 国庫補助制度の充実

総合周産期センターの国庫補助の算定基準にNICU数を加えるとともに、地域周産期センターに対してもNICU数を算定基準とした国庫補助制度を創設すること



舛添厚生労働大臣に対し要望書を手交

「周産期医療と救急医療の確保と連携に関する懇談会」報告書



国はNICU必要数を『出生数1万に対し25床~30床』に見直すこととしたが、具体的な方策は示されていない

周産期センターへの運営費補助の国と都の比較

	M-FICU	NICU
国	○	×
都	○	○

NICU収支モデル試算

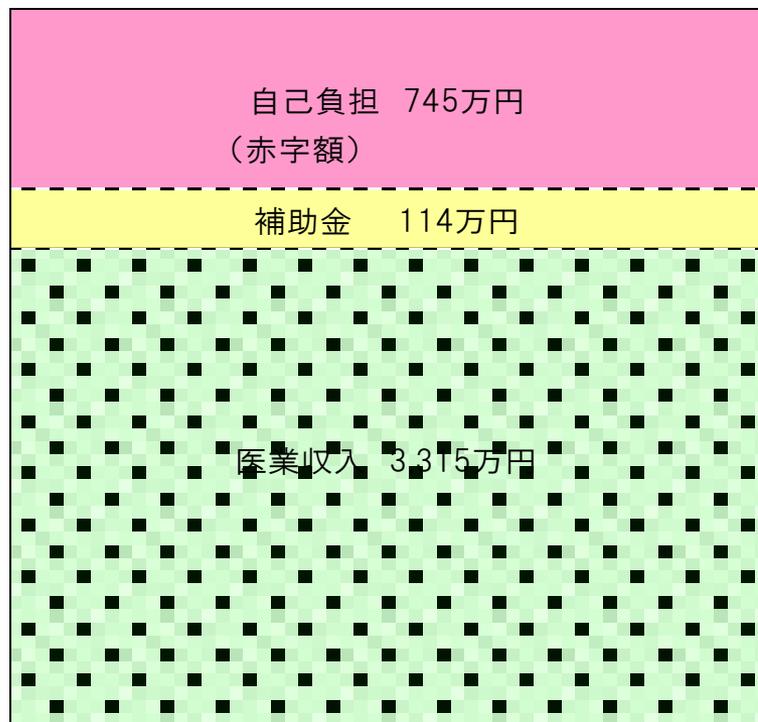
(東京都周産期医療体制整備PTによる試算)

NICU 1床あたりの運営にかかる収支

NICU

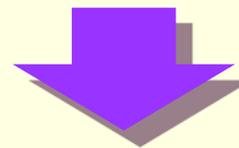
支出 4,174万円/床

(経常費用 3,775万円+減価償却費 399万円)



- NICUの年間の運営にかかる1床あたりの所要額は
4,174万円

- この費用に対する財源として、医療収入(3,315万円)と補助金(114万円)を充当しても、745万円の自己負担(赤字額)が発生



**診療報酬と補助制度の
充実が不可欠！！**

周産期医療体制の整備に向けて

■ 日本の周産期医療を変える

- ・東京の現場から考え、日本の周産期医療を変えていくことが、首都東京の役割
- ・「首都公務員」の気概をもって、国をリードする施策を講じていく